

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新設中学校建設事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	09	54
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学区内の生徒	意図	おおたかの森駅周辺を中心とした人口急増による就学生徒数の大幅な増加に対応するため、新たに中学校を建設することで、教育環境の基盤充実を図る。
事業内容	大畔地区に中学校を建設するために、設計業務及び建設工事を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成30年度より、学校用地（中学校）取得事業と合わせて、当該敷地における物件調査、測量及び学校施設の基本計画に着手した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	設計業務進捗率				4 %	777	出来高額/契約額 199,800,000円
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				9,977,600				
事業費(b)(円)				8,000,000				
うち一般財源				8,000,000				
職員給与費(c)(円)				1,977,600				
人役・職員(人)				0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	新規事業により記載なし。	③取組における課題(Check)	事業費の削減と円滑な事業進捗
②H30に実施した取組(Do)	新規事業により記載なし。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	実施設計の精査と周辺造成工事を含めた複数工事の調整を図る。